

ジニウム

ユーザーガイド

※付属の取扱説明書も必ず参照ください。

2026年8月版



【目次】

1. はじめに
2. 充電について
3. バッテリー残量の確認方法
4. ビープ音と振動信号
5. 基本の動作パターン
 - 5-1. 歩行
 - 5-2. 立位機能
 - 5-3. Walk to Run (短距離を走る)
 - 5-4. 座る動作
 - 5-5. 座位機能
 - 5-6. 障害物の乗越え・階段の交互上り
 - 5-7. 階段を交互に降りる
 - 5-8. 坂道を下る
 - 5-9. 坂道を上る
6. マイモード切替え
7. ミュートモードのON/OFF
8. ブルートゥースのON/OFF
9. スリープモードのON/OFF
10. シットイング機能、階段・障害物乗越え機能、立位機能のON/OFF
11. 保証と定期メンテナンス

1. はじめに

本資料は、ジニウムの使用に関する補助資料です。
必ず「取扱説明書(ユーザー用)」で、詳細事項の確認を行ってください。

その他の参照資料
別紙「Connectgoユーザーアプリ操作マニュアル」

2. 充電について

1) 充電
バッテリーは4〜5日間持ちます(使用頻度によります)。
但し、忘れないように毎日残量をチェックする事をお勧めします。

マグネット式で充電器が接続されます。
そのため約2mm厚程度の布上からでも充電が可能です。必ず充電状況の確認を行って下さい。

正常サイン：LED	サイドLED	状況説明
 緑色に点灯	---	充電器は使用可能です ジニウム本体のレシーバーに接続させ、充電してください
 紫色に点滅後に消灯	充電状況に応じ 1〜5が点灯	正常に接続されています。充電が開始されました 夜間に気にならないように、約1分後に消灯します

エラーサイン：LED	サイドLED	エラー内容	解決方法
 紫色に弱く点灯	---	接触不良など 充電器とレシーバーの間が2mm以上離れている	充電器とレシーバーの距離を近づけてください *服の上から充電している場合は、注意が必要です
 黄色に点灯	2、4点灯 ○●○●○	充電器が高温 充電できません	<重要> 充電条件 +10℃～+45℃内で充電を行ってください 充電器とレシーバーの距離を近づけてください
	1、3、5点灯 ●○●○●	ジニウムが高温または低温 充電できません	
	3点灯 ○○●○○	充電されていない、充電器とレシーバーの間が離れている	
 赤色に点滅	---	充電されていない 充電器の故障の可能性	充電器とACアダプターを接続しなおしてください 改善されない場合は、ottoボックへご連絡ください

2) 充電時間
空の状態からのおよその充電時間。

充電時間	充電容量
約1時間の充電	30%
約2時間の充電	50%
約4時間の充電	80%
約8時間の充電	完全充電

3. バッテリー残量の確認方法

1) 充電器を接続

充電器サイドのLEDで確認することが可能です。

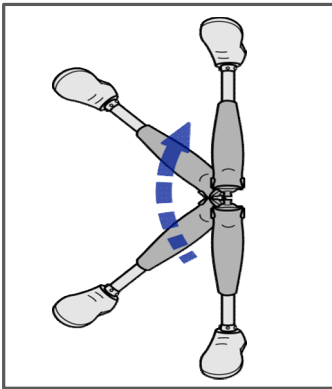


残量チェック

5つLED点灯	:	90% 以上
4つLED点灯	:	70-90%
3つLED点灯	:	50-70%
2つLED点灯	:	30-50%
1つLED点灯	:	10-30%
0つLED点灯	:	0-10%

2) 膝継手を180°回転

膝継手を180°回転させた時になる音の回数で、確認することが可能です。



約2秒キープするとビープ音になります。

残量チェック

5回ビープ音	:	80%
4回ビープ音	:	60%
3回ビープ音	:	40%
2回ビープ音	:	20%
1回ビープ音	:	20%未満

[補足]

下記の状況ではビープ音はなりません。

- ・充電器を接続している
- ・ミュートモードがON
- ・音量をゼロに設定している

3) connectgoユーザーアプリに接続



4. ビープ音と振動信号

予期せぬ場面で、ビープ音や振動が発生した場合は、無視せずに必ず確認を行ってください。

1) 充電後、充電器を取外した際のビープ音と振動信号

ビープ音	振動信号	状態	対処法
1回短く	1回短く	ジニウムは正常に使用できます	――
3回短く	――	メンテナンス時期が近づいています ジニウムは正常に使用できます	メンテナンスのスケジュールをご確認ください
5回長く	1分ごとに5回長く	チューブアダプターと本体のケーブルが接続されていません	ケーブルを接続し、充電器の接続と取外しを行ってください

2) オーバーヒートに関する信号

ミュートモードがONの場合、信号は発信されません。ご注意ください。

ビープ音	振動信号	状態	対処法
――	約5秒の間隔で 1回長く	油圧シリンダーのオーバーヒート	活動量を抑えてください。 シリンダーは熱くなっていますので、触らないでください。

3) 充電残量に関する信号

速やかに充電してください。使用可能時間は使用状況によります。

ビープ音	振動信号	状態	対処法
――	3回長く	バッテリー残量レベル 25%以下	すぐに充電してください 使用可能時間：約24時間
――	5回長く	バッテリー残量レベル 10%以下	すぐに充電してください 使用可能時間：約6時間
10回長く	10回長く	バッテリー残量レベル 5%以下 ビープ音と振動信号が発信された後、バッテリー切れモードに切替わり、その後、電源が切れます	すぐに充電してください

4) エラー信号

担当の義肢装具製作施設へ連絡してください。

ビープ音	振動信号	状態	対処法
5回長く	60秒ごとに 5回長く	中程度のエラー ：センサーが作動しないなど、セーフティーモードに切替わります	制限付きで歩行可能です 義肢装具製作施設にて点検を受けてください
30回長く	3秒ごとに 1回長くと1回短く	重大なエラー ：弁が動かないなど、セーフティーモードに切替わらない可能性があります	制限付きで歩行可能です 義肢装具製作施設にて点検を受けてください
――	継続的に振動	全体的な故障 ：電子制御が不可です セーフティモードが作動、またはバルブ状況が不確定な状態です	制限付きで歩行可能です 義肢装具製作施設にて点検を受けてください

セーフティーモード：

致命的エラー（センサーが反応しないなど）が生じると自動的にセーフティモードに切替わります。

充電器の取付け（振動信号を確認）と取外しを行なう事で、セーフティモードを解除することができます。

解除されない場合は、義肢装具製作施設にて点検を受けてください。

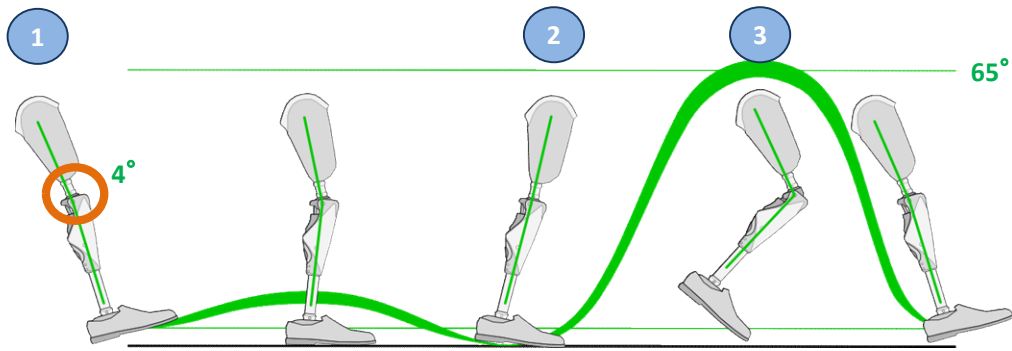
5) 上記以外のビープ音と振動信号

担当の義肢装具製作施設へ連絡してください。

5. 基本の動作パターン

5-1. 歩行

複数のセンサーが、歩行状態を瞬時に判断し、より自然な歩容を実現します。



① 踵接地時

軽度(4°)屈曲位で踵接地します。

踵接地時の突き上げるような衝撃の軽減や、素早く滑らかな足底接地を促します。

② 遊脚期への切替え

歩行速度や体重の移動、義足が前方へ傾いてきた事を自動感知し、滑らかに切替えを行います。

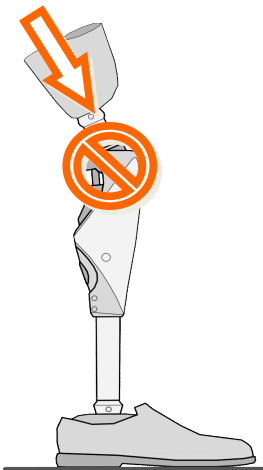
③ 膝の曲がり角度

設定値(初期値65°)まで曲がります。

ゆっくり歩きの場合でも設定角度まで曲がるため、クリアランスが充分にとれ安全な歩行が可能です。

5-2. 立位機能

調整アプリで設定する際に、どちらかを選択します。



① 直観的ロック

- 膝継手に荷重をかけ、屈曲位で静止すると、膝継手は瞬時にロックします。
- 荷重をかけない、または、重心を前後方向に移動するなど通常の動きを開始しすると、ロックが解除されます。

[ポイント] 本機能は直感的に働きます。

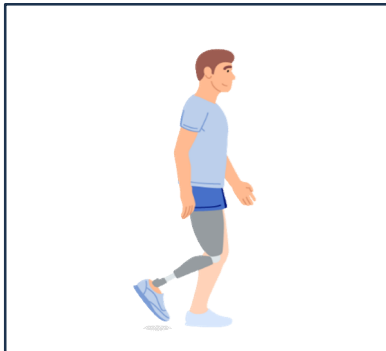
② 任意ロック

- 膝継手に少しの間(約1/8秒)荷重をかけ、屈曲位で静止した場合、膝継手はロックします。
- 直観的ロックでは、不意にロックが効いてしまう方は、任意ロックをお勧めします。(両側の方、ゆっくり歩きの方など)
- 膝継手を伸展する、または荷重を解除すると、ロックが解除されます。

[補足]

- connectgoユーザーアプリで、一時的に機能をOFFにすることが可能です。
- 不整路面を歩行する場合など、不意にロックが効く事を避けたい場合に有効です。

5-3. Walk to Run (短距離を走る)



短い距離を素早く動く際、自動的に走行モードに設定が切替わります。
走行モード：

- ・ 遊脚期の膝の曲がる角度が大きくなります。
- ・ 踵接地時の膝の角度が0°になります。

走行速度を落とすと自動的に通常歩行モードに切替わります。

5-4. 座る動作

調整アプリで設定する際に、どちらかを選択します。

座り動作の際は、両足に均等に荷重をかけ、必要に応じてひじ掛けを使用し座ります。



① 油圧抵抗によるサポート

- ・ 膝が深く曲がるにつれて、油圧抵抗が強くなります。
より安定感を必要とする方に有効な機能です。

② 油圧抵抗は一定

- ・ 膝の角度に関わらず、油圧抵抗は一定です。

[補足]

connectgoユーザーアプリで、抵抗値の微調整を行うことが可能です。
恒久的に値を変更する場合は担当の義肢装具士に相談してください。

5-5. 座位機能



装着者が2秒以上、座位を保持すると、膝継手の曲げる方向への抵抗値が最小値に変更されます。

荷重をかけた瞬間、通常の歩行モードに切り替わります。

シッティング機能状態では、省エネモードになります。

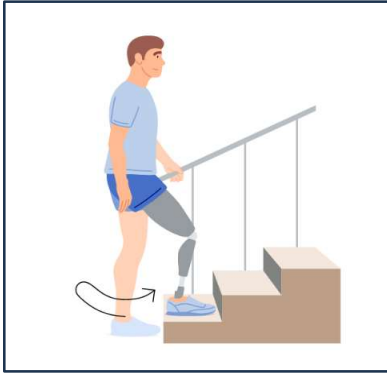
座位とは：

- ・ 大腿部が水平で、義足へ荷重が無い状態

[補足]

connectgoユーザーアプリで、一時的に機能をOFFにすることが可能です。
座位で踏ん張りを効かせたい場合などに、有効です。

5-6. 障害物の乗越え・階段の交互上り



十分に練習を行うことで、障害物の乗越え機能を使うことができます。その際、断端の筋力があること、ソケットの適合がしっかりしていることが重要になります。

- ・ 膝を完全伸展させ、後方に蹴り上げ(ホイップ動作)、素早く股関節を曲げます。
- ・ このホイップ動作を検知し、膝継手の曲がる抵抗値が最少になり、膝が大きく曲がります。
- ・ 膝継手が十分に曲がると、抵抗値が増します。
- ・ 大きく曲がった義足を障害物の上に乗せる、またはクリアランスを生かし、障害物をまたぎます。
- ・ 上体を持ち上げるように、股関節を伸ばします。この時、十分な筋力が必要になります。手を健側に置いたり、側方に支え(壁や手すり)があると楽に行えます。
- ・ 股関節を伸ばす事により、膝継手が伸びます。
- ・ 膝継手が完全に伸びたら、通常歩行モードに切替わります。

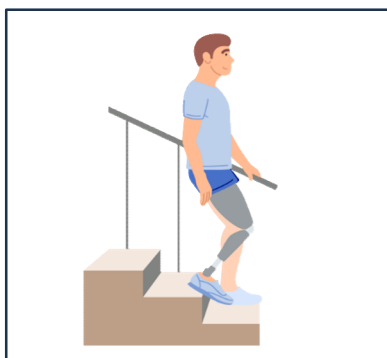
障害物の乗越え動作を繰り返し行うことで、階段を交互に上ることができるようになります。

- ・ 十分に練習を行ってください。
- ・ 安全のため、手すりを必ず使用してください。

[補足]

connectgoユーザーアプリで、一時的に機能をOFFにすることが可能です。

5-7. 階段を交互に降りる



十分に練習を行うことで、階段を交互に降りることが可能です。

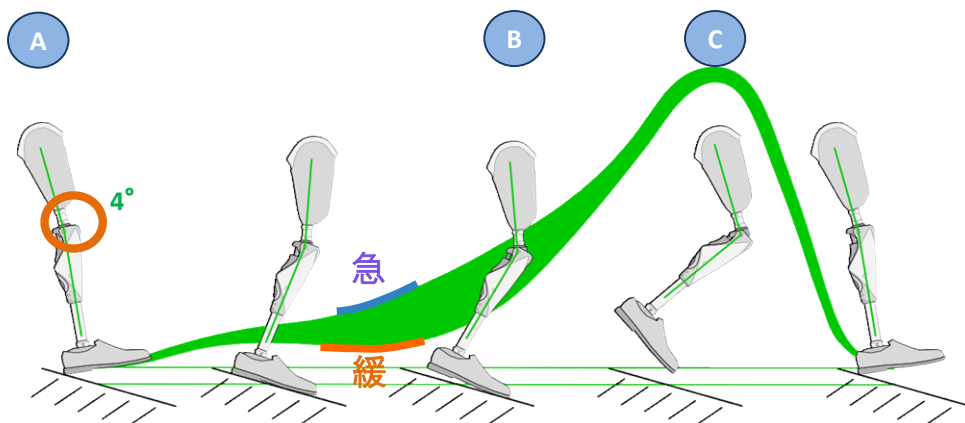
- ・ 安全のため、手すりを必ず使用してください。
- ・ 義足側を下の段に下ろします。この時、足部の半分ほどが階段の縁から出るようにしてください。こうすることで、安全に足部を踏み返す(ロールオーバーする)ことができます。
- ・ 健側を次の段に置きます。
- ・ その後、義足を次の段に置きます。

[補足]

connectgoユーザーアプリで、抵抗値の微調整を行うことが可能です。恒久的に値を変更する場合は担当の義肢装具士に相談してください。

5-8. 坂道を下る

複数のセンサーが、歩行状態に加え坂道の状況を瞬時に判断し、より自然な歩容を実現します。
坂道の角度に応じて、膝の曲がる角度を自動調整します。



A) 踵接地時

軽度(4°)屈曲位で踵接地します。
健側を安全に前方に接地させ歩行することができます。

B) 遊脚期への切替え

膝が前方へ傾いてきた事を検知し、膝が曲がります。

C) 膝の曲がり角度

坂道の角度に応じて、膝の曲がる角度が自動調整されます。
体の左右のブレも少なくバランスよく下りることができます。
またクリアランスも充分に取れるため安心です。

調整アプリで設定する際に、油圧抵抗の効き方を選択します。
この値は、階段の下りの際にも適応されます。

① ダイナミック

膝の角度に関わらず、油圧抵抗は一定です。

② サポート

膝が深く曲がるにつれて、油圧抵抗が強くなります。
より安定感を必要とする方に有効な機能です。

5-9. 坂道を上る



① 踵接地時

軽度(4°)屈曲位で踵接地します。
棒足状態の義足を乗越える動作の必要がなく、スムーズに健側を出すことが可能です。

② 遊脚期への切替え

膝が前方へ傾いてきたことを検知し、適切な位置で楽に膝が曲がります。

6. マイモード切替え

1) connectgoユーザーアプリで切替え

安全を確保し、切替えを実施してください。



connectgoユーザーアプリを起動させ、切替えたいモードの↑を上方にスワイプします。

選択されたモードが濃い青に変わります。

ビープ音が1回なり、モードが切替わります。

[補足]

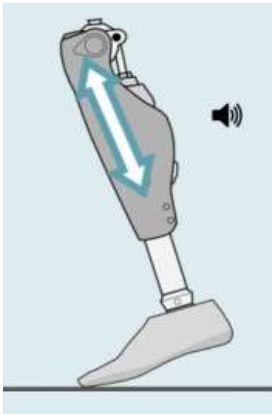
音量を最小に設定している場合は、ビープ音は鳴りません。

2) 前足部のバウンスングで切替え

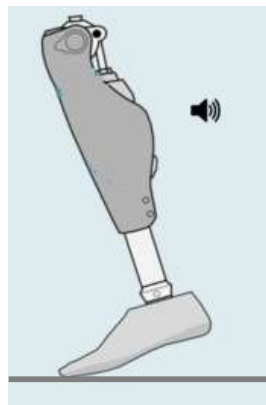
マイモード1と2の切替えのみ、および、調整アプリで設定した場合のみ可能です。

安全を確保し、切替えを実施してください。

マイモードへ切替える



- ・膝を後方へ完全伸展させる
- ・前足部へ3回または4回バウンスングを行う
- ・1回長いビープ音になる



- ・つま先を着いた姿勢をキープする
- ・2回のビープ音：マイモード1へ切替え
- ・3回のビープ音：マイモード2へ切替え

歩行モードへ戻す

- ・前足部へ3回または4回バウンスングを行う
- ・1回長いビープ音が鳴る
- ・つま先が付いた状態をキープする
- ・1回のビープ音：歩行モードへ切替え



歩行モードへ戻らない場合

connectgoユーザーアプリを使用
または、充電器を接続してください

3) 伸展ロックの解除方法

伸展ロックの掛かるモードを選択した場合、下記の方法で一時的にロックを解除することができます。



手すりなどにつかまり、安全を確保してください。

後方へ義足を上げます。



約2秒後に伸展します。

但し、再度屈曲すると伸展ロックがかかります。

[注意]

歩行する場合は、必ず通常モードに切替えてください。

7. ミュートモードのON/OFF



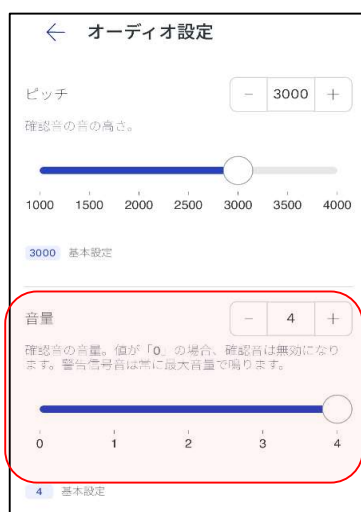
connectgoユーザーアプリを起動させます。
メニューから「消音」のゲージをONにします。

用途：劇場などで一時的にミュートにできます。

ミュートモードがONの時に、発せられない音

- ① モード切替時の確認音
- ② パラメーター調整時の確認音
- ③ オーバーヒートを起こした場合のエラー音

「オーディオ設定」から音量をゼロにすることもできます。



8. ブルートゥースのON/OFF



connectgoユーザーアプリを起動させます。
メニュー「パーツ状態」を選択します。

用途：飛行機に乗る場合など、必要に応じてOFFにしてください

注意：ブルートゥースがOFFの場合、下記の接続が行えません

- ① connectgoユーザーアプリとの接続
- ② connectgo.pro調整アプリとの接続

再起動：充電器を接続する

Geniumを180°回転させ、ビープ音を確認する



9. スリープモードのON/OFF



必要に応じて、connectgoユーザーアプリでON/OFFができます。
調整アプリで設定していた場合、スリープモードが表示されます。

用途：バッテリーの消費を軽減することができるモード
旅先で充電器を忘れた際など、夜間にスリープモードを
起動するとバッテリー消費を抑えられます

注意：通常歩行はできません。
歩行する場合は必ず、基本モードに戻してください。

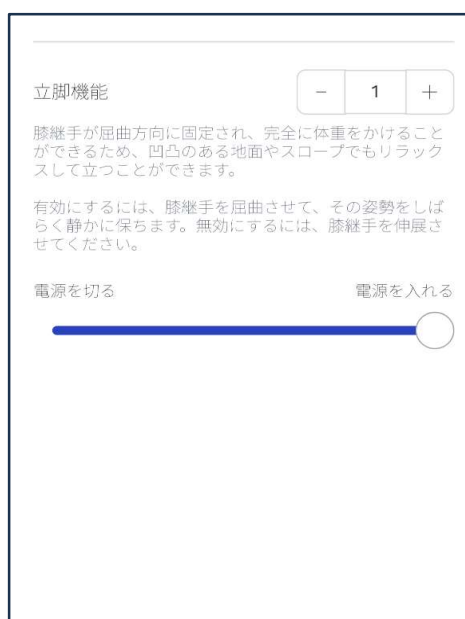
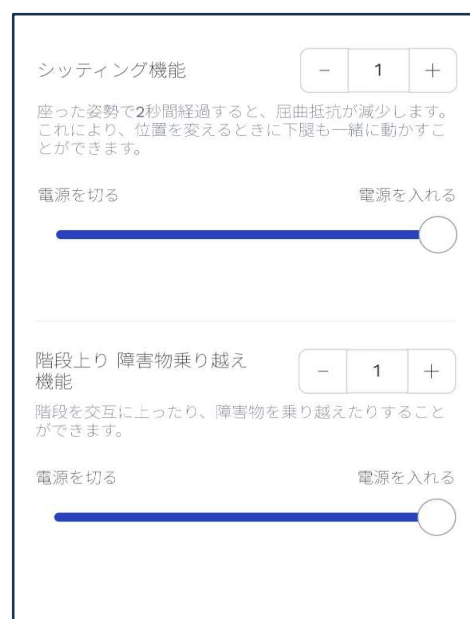
解除：基本モードに切替える
充電器を接続する

10. シットティング機能、階段・障害物乗越え機能、立位機能のON/OFF



必要に応じて、connectgoユーザーアプリでON/OFFができます。
通常モードの設定を開きます。

[補足]
機能の詳細については、本資料「5.基本の動作パターン」を確認し
てください。



11. 保証と定期メンテナンス

重要

内容の詳細は購入時にお渡しする保証書にて必ず確認してください。
必ず定期メンテナンスを受けて頂く必要があります。

1) 保証

ジニウムの保証期間には「3年保証」と「6年保証」があります。

保証期間を超えた場合の修理は有償となります。

また、保証期間内であっても不可抗力の起因による、またはオットーボック社製以外の部品との組み合わせた事により発生した機能不全は、**保証の対象となりません**。

定期メンテナンスが決められた時期に実施されなかった場合も、**保証対象外**になります。

詳細は「保証書」を確認してください。

2) 定期メンテナンス

3年保証の場合：24ヶ月目の前後1ヶ月以内

6年保証の場合：24ヶ月目、及び48ヶ月目の前後1ヶ月以内

*保証書には2ヶ月後までと記載されていますが、代替品との交換や、弊社にメンテナンス品が到着するまでの期間を考慮し、1ヶ月後までには実施をお願いいたします。

24ヶ月目のメンテナンスが実施されなかった場合、保証期間は24ヶ月に短縮されます。

24ヶ月目のメンテナンスは実施したが48ヶ月目のメンテナンスが実施されなかった場合、保証期間は48ヶ月に短縮されます。

メンテナンスの際は、代替え品をご用意させていただきます。

3) メンテナンスに必要な物品

下記4点をご準備ください。

- ① ジニウム本体、②チューブアダプター ＊接続したまま
- ③ 充電器
- ④ 保証書

4) メンテナンス期間 (2026年8月現在)

定期メンテナンスに要する期間は、約2ヵ月かかります。

ただし損傷の度合いによっては、修理を実施するため、数ヶ月かかることがあります。

あらかじめご了承ください。

5) 定期メンテナンス時期のお知らせ

connectgoユーザーアプリに通知



充電器を取外した時のピープ音の回数

- ・ **3回ピープ音**
通常は1回

ottobock.

掲載内容の無断使用禁止

掲載されている内容、文章、画像については、無断で使用もしくは転載する事を禁止します。

オットーボック・ジャパン 株式会社
www.ottobock.com/ja-jp

2026年8月版